

会 議 録

<p>会議名 (審議会等名)</p>		<p>第 1 4 回 次世代に引き継ぐ 淵野辺駅南口周辺のまちづくり市民検討会</p>		
<p>事務局 (担当課)</p>		<p>都市計画課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 8 2 4 7 (直通) 生涯学習課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 8 2 8 7 (直通) 公園課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 8 2 4 3 (直通)</p>		
<p>開催日時</p>		<p>令和 3 年 1 1 月 2 0 日 (土) 午前 9 時 3 0 分 ~ 1 2 時 1 5 分</p>		
<p>開催場所</p>		<p>けやき会館 2 階 職員研修所 大研修室</p>		
<p>出席者</p>	<p>市民検討会 委員</p>	<p>1 5 人 (1 0 ページのとおり)</p>		
	<p>有識者協 議会委員</p>	<p>3 人 (1 0 ページのとおり)</p>		
	<p>その他</p>	<p>0 人 (各施設担当者)</p>		
	<p>事務局</p>	<p>1 2 人 (都市計画課長、生涯学習課長、公園課長他 9 人)</p>		
<p>公開の可否</p>		<p><input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可</p>	<p>傍聴者数</p>	<p>1 人</p>
<p>公開不可・一部 不可の場合は、 その理由</p>				
<p>会議次第</p>		<p><開会あいさつ> 1 資料説明 (1) 評価の視点について (2) 評価シートの集計結果について 2 グループワーク 3 講評</p>		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。（◎市民検討会委員の発言、○は有識者協議会委員の発言、●は事務局の発言）

1 経 過

都市計画課長による開会の後、要綱第5条第3項の規定に基づき、有識者協議会小山副会長進行のもと、傍聴の確認を行い、事務局から資料説明、質疑応答を行い、その後、グループワークを行った。

2 議 事

< (1) に関する説明 >

前回の市民検討会のグループワークの結果をもとに、有識者協議会委員の意見も聴きながら整理した評価の視点について、説明を行った。

< (2) に関する説明 >

事前に作成した評価シートの集計結果について、説明を行った。

【質疑応答】

特になし。

(3) グループワークについて

まちづくりWG、公共施設WG、公園WGのグループで、作成した評価シートについて、発表メモ等を基に一人ずつ発表を行った。その後、検討パターンの優先順位付けについてグループ毎に検討を行い、全体で共有した。

<まちづくりWG>

最初にビジョンとして、なるべく既存の公園を棄損させないというものがある。公園中心パターンにしても、公園の面積を減少させないという考えを持つのであれば、容認できるものだと考えている。評価のポイントとして、一番に考えたのは、「折衷案」が良いのではないか、ということ。二番目は公園中心パターンということで考えた。「折衷案」の中で留意すべき点としては、池、植栽の在り方を考える必要がある。また、複合施設をどちらに建てるにしても、公園の周りの道が狭く、駐車場も混雑している状況であり、道の拡張や駐車場の整備を考えなければ、複合施設をつくった場合に、非常に困ることになる。防災の点から考えると、公民館と公園は近い方がいいという意見もあったが、今の時点で容認できるかどうか、結論はでなかった。公民館は駅に近い方がいい

のではないかという意見があったが、図書館敷地でも駅に近いと言えるという意見もあった。外から来る人にとっては駅に近い方が良いと考えられるが、多少の距離は我慢していただいても良いのかなと思った。折衷案を考えると、複合施設をどこに建てるのか、図書館敷地に建てるのか、公園敷地に建てるのか、まだそこまでは意見をまとめられていない。建物を建てるにしても、公園内に児童館の機能は配置して、図書館敷地に他の施設を複合化して建てればよいのではないかという意見もあった。最終的な結論は出ていない部分もあるが、そのような考えでグループワークを行った。

〈公共施設WG〉

各検討パターンのメリット、デメリットを具体的に考えた結果、3つの検討パターンに絞り込まれた。そのうち、図書館敷地中心パターンは、現在図書館を利用している人に対するサービスの継続が難しいということで、最終的には「折衷案」と「鹿沼公園中心パターン」の2つに絞られた。メリットとして出た意見は「折衷案」の方が多かったが、「鹿沼公園中心パターン」のメリットとして、公園内に複合施設を設置すれば、現在施設を利用している人達が、継続的にサービスを受けることができるということが、とても大きいと思った。図書館敷地を含めてより多くの財源が確保できることも、意見として挙げられた。一方、「鹿沼公園中心パターン」は公園の敷地が狭くなってしまうことを踏まえると、できるだけ複合施設を小さくまとめることになるのではないかという不安もあり、どちらかと言うと、折衷案の方が、優先度は高いという意見でまとまった。

〈公園WG〉

評価結果を見て、「鹿沼公園中心パターン」に関する評価が集まっているのはどのようなところか考えてみた。財源の確保以外に3つの項目を考えた。誰でも利用しやすい、自然環境に配慮した機能への対応、空間、場所を意識させる機能への対応、この3つの項目を考えると、「公園と図書館の折衷案」の方向で話が進んでいる。

- ：公園WGは折衷案、公共施設WGとまちづくりWGは、折衷案と公園中心パターンということで優先順位をつけていただいた。公園WGでは留意した視点として3つあった。公共施設WGでは、メリット・デメリットを整理したという話があった。折衷案と公園中心パターンで決めきれない部分もあるようだが、どちらかと言うと折衷案の方が、優先度は高いということであった。まちづくりWGでは、折衷案と公園中心パターンで優先順位を付けていただいたところ

で、具体的に複合施設をどのように設置するかという検討がまだ必要な段階ではあるが、共通項を見出して優先順位付けをしていただいた。ここからは、全体で意見交換をして、次回に向けた方向性を見出していきたい。

- ◎：まちづくりWGなので、複合施設を設置する場所が決まった後、跡地をどのように活用するのが気になる。夢のような話だが、駅前の公民館敷地を公園にできたら良いのではないかという話も出た。まちづくりWGとして、委員任期終了後の議論の進め方がどうなるのか、とても気になっている。
- ：市民検討会の議論が進んでいく中で、そういった検討にまで入れれば良いと思うが、事務局としては、まず、現委員の任期中にしっかりと方向性をまとめられるよう努力していきたい。
- ◎：財源確保の点からは、現実的なことも考えなくてはいけないとも思う。
- ：持続可能な公共サービスとすることは、我々の一つの使命だと考えている。公共施設の在り方に関する議論を様々な形で積み重ねていきながら、どうしたら実現できるのかを市民検討会で一緒に検討していきたいと考えている。
- ◎：折衷案と公園中心パターンが良いのではないかという意見が多いようだが、公園中心パターンが良いと考える委員の方は、公園敷地内に大きな建物を建てることに対する抵抗感はないのか、駐車場の確保なども検討が必要だと思われるが、どのように考えているのか。
- ◎：以前から、鹿沼公園の中に複合施設を建設することに対して反対する意見もあり、また、公園周辺の対策の点も含めて考えると、折衷案の方がより良い形で次世代に引き継ぐことができるのではないかと思う。
- ◎：鹿沼公園中心パターンを残す意味としては、財源に関することだけという理解で良いか。
- ◎：そのとおり。
- ◎：公園WGでは、利便性という点で、淵野辺駅に近いというところで、交通の便が良く、誰でも利用しやすいと考えた。次に、安全・安心という点では、公園は、地震等の災害に対する防災の拠点でもあるが、風水害時には建物である公民館も必要となる。折衷案で図書館を公園の中に入れるとなると、図書館敷地に公民館を配置しても良いのではないか。図書館を公園の中のどの部分に設置するのか、まだ意見がまとまっていない。個人的には、野球場を撤去して、図書館と多目的広場として整備するのが良いと思う。野球場は相模原駅北口に新たにできる場所があり、そちらを代わりに利用してもらえばよいのではないかと思う。鹿沼公園は、近隣住民の憩いの場所として整備をしていただきたいと考えている。
- ：折衷案の中でも、公共施設をどのように配置するのか、様々なアイデアがあると思う。今日はそこまで踏み込む前の段階だが、公園中心パターンと折衷案

を見比べながら、メリット、デメリットに着目して更に深掘りをしていけば、ある程度市民検討会として絞り込みができるのではないかと。

- ◎：評価シートの集計結果をもとに、公園中心パターンと折衷案を比較して、両案の差がどこにあるのかという点をもう少し考えてみたらどうか。
- ◎：公共施設WGで話をしている中では、公園の周りの道路を拡げた方が良いのではないかとアイデアが出ていたが、私は公園中心パターンよりも折衷案の方が、人や車の流れが分散できるのではないかと思う。また、独自に試算したものだが、折衷案として、図書館ともう一つ別の建物を建て、その中には青少年学習センターと児童館、国際交流ラウンジを入れるような案を考えてみた。この3つの施設だと延床面積は2200㎡となり、約3000㎡として公園内のどこに当てはめられるのかを考えると、野球場、テニスコートでも問題ないが、公園内の駐車場が1850㎡であることから、建蔽率を考えて2割引いたとしても、2階建てか3階建てくらいの建物として、公園駐車場内に十分に収まると考えられる。近隣に住んでいる方のことを考えると、あまり建物は高くしない方が良くと思う。複合施設の高さはあまり高くしないということをベースにしたいと考えている。
- ：公園の機能を維持していくという考えをみなさんお持ちのようだ。そのあたりは、皆さんの共通認識と言うことで良いか。事務局としても、公園の機能を維持していくことは必要だと考えている。以前から野球場を多目的に使えるようにしたいというアイデアは出ているが、今は建物を公園の中のどこに配置するかという点が議論されているが、公園の機能をどのようにするかという点も併せて考える必要があるようだ。快適さと安全・安心の点からも公共施設の配置場所や公園の機能の見直しにより、変わっていく部分があると思う。折衷案は、面積を大きくとれるので、自由度は広がり、皆さんの意向を反映しやすくなるのかも知れない。公園周辺道路など交通の問題も含めて、次のステップに進んだ際に、より具体的に検討ができれば良いと思う。
- ◎：次に引き継ぐに当たり、青少年学習センターを複合化してしまうと、矢部の子ども達の活動する場がなくなってしまうリスクがあることから、その点は引き続き検討するということは申し送り事項としていただきたい。
- ：前回も同様の意見があったことから留意点の一つであると考えている。
- ：先ほど公園中心パターンと折衷案の違いを整理した方が良くという意見があったが、公共施設WGでどのような話が出たか。
- ：公園中心パターンと折衷案の違いについて、公共施設WGで両案の比較をしている中では、財源の他に、工事中に図書館のサービスを止められるのかということが話題に出た。図書館のサービス継続だけでなく、工事期間中に図書館資料をどこで保管するのかといった課題も挙げられた。その点について、公園

中心パターンでは、新たな図書館が完成してから移転すれば、公園として使用できる面積が狭くなることへの懸念はあるが、図書館サービスの継続はしやすいといった意見があり、公共施設WGのホワイトボードには、公園中心パターンのメリットとして「活動継続」と「仮設不要」としてまとめられている。

◎：公園中心パターンにはメリットとデメリットがある。公園内に複合施設を設置すること、外周道路を拡げることで、公園の面積は狭くなるのではないかと私は、図書館敷地を含めて、公園のリニューアルを行えば、色々検討できる幅が広がるので、折衷案の方がよいのではないかと考えている。

◎：私は、公園の面積を棄損するようなアイデアは考えていない。折衷案にしても、具体的な議論はこれからだが、一番として公園の機能を少なくする、公園の面積を減らすということに関しては、公園中心パターンであっても折衷案であっても考えていない。

●：公園中心パターンと折衷案の違いについて、公共施設WGで出た意見を紹介してもらった。次のステップに検討が進んだところで明らかとなることもある。今の段階では、公園の機能や施設の配置をどうするのかということを考えていけば、この二つの案を軸に更に検討を進めていくことを今回のまとめとしても差し支えないのではないかと。次回、さらにメリット、デメリット、今後の留意点等を明らかにして市民検討会の案としてまとめていきたいと考えている。

◎：私の意見としては、どちらのパターンも公園の面積を減らすことは考えていない、子ども達の遊ぶ場所を減らすということは考えていない。公園の中に複合施設を建てるのであれば、野球場などを優先して考えていただきたい。

●：皆さんでそういった具体的な議論をさらにしていけば、公園の中で残すべき機能をしっかりと確保しつつ、公園内を複合施設の設置を含めてどのようにリニューアルしていくのか、実現可能な市民検討会の案としてまとめていくことができるのではないかと。

◎：次回は、次期市民検討会に引き継ぐことを見据えたまとめを行う回であると考えていたが、次回、検討パターンの内容をさらに詰めていく時間はあるのか。

○：その点は私が引き取ります。

◎：鹿沼公園中心パターンと折衷案の2つが出ているが、折衷案の中でも様々なアイデアがある。これを「折衷案」として以後の検討が断たれてしまうと、またこんなはずではなかったということになってしまう。折衷案であっても、ある程度幅を待たせて結論とする必要があるのではないかと。

【有識者協議会委員による講評】

・野口委員

客観的な意見が出ていて、すごくよかったと思う。2点話をさせていただき

たい。まず、1点目は、折衷案や公園案にて公園の中に建物をどのように配置したか全く考えたことがないのでわからないという意見があったが、そのようなことはなく、以前検討会にて議論をした。もう一度資料の確認をお願いしたい。それを踏まえて、また違う案を発展していくようにお願いしたい。

2点目は、公園の機能という言葉がよく出ていたが、公園の機能とは何なのか。そこをしっかりと考える必要がある。木があったら公園なのか、芝生があったら公園なのか、評価シートの項目であれば今イメージしている木が無くても成り立つと考えている。

我々は公園に何を求めるのかということを見ると、先ほど市民検討会委員から話がありましたが、例えば、公民館の跡地を公園にしたいという考え方があるとして、収益のことを考えたら難しいかもしれない。もし、そうであれば、公園のような考え方を持った空間を作ることを大前提にすればいいという考え方になっていくと思う。

そのため、公園とは何かということをもう一度考えていただきたい。公園に何を求めるのかを考えると考え方が変わってくると思う。私自身もわからない部分があり、イメージで述べているところもあるため、公園とは何かを冷静になって考える必要がある。

・山口委員

熱心に議論いただきありがとうございました。基本的な方向性として公園と図書館の折衷案がメイン、鹿沼公園中心案がその次という方向性が出たと思っている。

その上で、公共施設WGで話が出ていたが、鹿沼公園中心案の場合、例えば図書館の継続性が保てる等、それぞれの選択肢の中でメリット・デメリットがあり、鹿沼公園中心のプランで言うメリットが折衷案ではデメリットになる場合があること等を踏まえて、この2つの案を丁寧に整理し、市民検討会で出した結論が、実際のプランに反映されるような形にしていきたい。

また、単純にどのパターンという話ではなく、それぞれのパターンのどういったところが評価されるのか、あるいは、そのパターンの前提とした要望を丁寧に整理していただけたらと思う。

なお、その上で、評価の視点に表れていない部分もあるという意見もあったため、こういった点は重視する必要があるといったところは意見を出していただき、最終的に次回整理をし、反映をしていただけたらと思う。

その他、次回の議論の進め方として、今回はWG毎に検討して、その検討結果を発表したことで、WG内での話が進んだと思う。そのため、次回はWG毎に検討が進んだものを、整理し、取りまとめていくことになると思うが、その

際には、WGを横断した議論をする時間を設けた方が取りまとめる上で良いのではないかと思う。

・小山委員

3点と今後のことについて話をさせていただきたい。

1点目は、まちづくりWGの中で、ビジョンという言葉を使っていたが、ここで検討したことを踏まえて、どのようなまちにするのかということが最終的な目標だと思う。

例えば、10年後、市民検討委員のみなさんが立ち戻ってきたときに、ここで議論してきたことが、実現できているとか、あるいは、私たちが思い描いていた活動、そこでの人々の暮らしが展開されている。その展開されているということを逆算していったときに、今、何を、どこに、どういう風に、したいのかということが次回の検討会においてまとめる案になる。

そのときは、留意すべきことは何か、あるいは、例えば、駅前に公園をつくるといった実現不可能と思われるようなアイデアであっても記録し、次の市民検討会の議論の材料にして欲しいという想いを、留意事項に加えていただいていたと思う。

2点目は、公共施設はある目的をもってその場所にあり、その場所でどういう活動をしたいのか、実現したいのか考える必要があり、さらには、機能の話の延長線上にある話として、公園とは一体何かということも考える必要がある。その公園でどういった景色を見たいのか、景色というのは見た目だけでなく、人々が笑っているとか、子どもたちが、お年寄りの方々がといった、そのようなことがイメージできるようなまとめが最終的にできればいいと考えている。

3点目は、山口委員から評価シートには載っていない意見もたくさん出ていたため、次回のまとめ時には反映させたい。

次回に向けた話として、公共施設WGで出ていたが、音の問題の件で、青少年学習センターで太鼓や吹奏楽など行う場合、例えば野球場の場所に置いたときに、防音施設がないものを作ってしまったら、近隣のマンションの住民の方に迷惑になってしまう等、まだみなさんが気付いていなかったこと、それぞれのWGでしか話が出なかったことを、記録に残していくことが必要かと思う。

その他、個人的な意見として、最後に建て替えの話が出ていたが、60年や80年後に、また、同じ議論をしなければいけないと考えたときに、例えば、式年遷宮ではないが、何十年後かに立て直すために、土地は残し置くということも考え方の一つかと思う。

いずれにしても、ビジョン、次に伝えたいという想いを、次回、皆さんと一緒にまとめていきたい。まとめ方については、進め方も含めた枠組みを事務局

に作っていただき、臨んでいただきたい。

3 その他

事務局より、第15回の市民検討会を12月12日（日）の開催を予定している事を伝えた。

以上

出 欠 席 名 簿

まちづくりワーキンググループ

氏 名	出欠席
飯田 秀雄	出席
植田 憲司	欠席
茅 弘秋	出席
今 美和子	出席
佐野 玲希	欠席
白石 一郎	欠席
畑 耕一	出席
松下 和則	欠席
山林 亮太	欠席
渡辺 章	欠席

公共施設ワーキンググループ

氏 名	出欠席
太田 裕	出席
小方 明	出席
小野澤 行雄	出席
上遠野 イク子	出席
金 愛蓮	欠席
佐伯 明美	出席
高柳 眞木子	出席
平本 峻	欠席
靱井 結希	欠席
矢部 裕子	出席

公園ワーキンググループ

氏 名	出欠席
飯沼 容子	欠席
荻野 弓希子	出席
荻原 ますみ	出席
城田 大介	出席
狭間 宏明	欠席
北條 幸治	欠席
島津 陽子	欠席
山口 清孝	出席

有識者協議会委員

氏 名	出欠席
押田 佳子	欠席
小島 仁志	欠席
小山 憲司	出席
杉崎 和久	欠席
鈴木 眞理	欠席
野口 直人	出席
山口 直也	出席